

科目ナンバー： BC5113

授業コード： 2230501100

講義科目名称： エンドオブライフケア論

英文科目名称： End-of-Life Care

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	看護師課程選択必修
担当教員			
◎東條紀子、大久保明子、関睦美、石岡幸恵			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 後期	【授業時間】 15時間		
	【担当教員】			
	【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】
	◎東條 紀子	新潟県立看護大学	308	toujou@niigata-cn.ac.jp
	大久保 明子	新潟県立看護大学	207	ohkubo@niigata-cn.ac.jp
	関 睦美	新潟県立看護大学	301	museki@niigata-cn.ac.jp
	石岡 幸恵	新潟県立看護大学	310	ishioka@niigata-cn.ac.jp
	実務経験のある教員が担当します。			
	【本学の科目区分】 専門科目			
	【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程			
	【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ○ ◎ ○ ○ ○			

到達目標	1. 患者・家族支援を重視した医療と生活を統合したエンドオブライフケアの概念を説明できる。 2. エンドオブライフを生きる人の病の苦痛や苦悩、生活背景に根差した生きる価値や希望、他者との関係性などの理解を深め必要な個別ケアについて述べるができる。 3. エンドオブライフを生きる人を取り巻く家族や社会の包括的なシステムの中で患者にとっての最善を尽くすアプローチを説明できる。 4. エンドオブライフケアの事例から自身の死生観を意識化しいのちについて述べるができる。 5. エンドオブライフに向き合う患者に関わる自己の態度の醸成に向けエンドオブライフケアに対する考えを表現できる。
授業概要	エンドオブライフケアの概念理解と小児・成人・老年期と発達段階に応じたエンドオブライフケアについて、その実践に関する知識・技術について学ぶ。また、自己の死生観を見つめなおし、自らの考えを意識化することや、対象者の多様な生き方や選択を支援する方法について検討する。
授業計画	1 エンドオブライフケアとは 授業内容 授業形態：講義 学修課題：エンドオブライフケアの概念 死を取り巻く社会状況 看取りの場の広がり 事前学修：各看護学での「終末期における看護」について復習する。 事後学修：「高齢者におけるエンドオブライフケアについて、看護職として自身が考察したこと」のレポートを作成する。 備考：東條 2 高齢者におけるエンドオブライフケア 授業内容 授業形態：講義 学修課題：高齢者におけるエンドオブライフケア 人生の最終段階における意思決定支援 臨死期のプロセス・臨死期に求められる援助 事前学修：老年看護学Ⅱ「高齢者の終末期における看護」について復習する。「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」を読む。 事後学修：「高齢者におけるエンドオブライフケアについて、看護職として自身が考察したこと」のレポートを作成する。 備考：東條 3 子どもと家族がよりよく生きるためのエンドオブライフケア 授業内容 授業形態：講義 学修課題：エンドオブライフケアの対象となる子どもと家族の特徴 ターミナル期にある子どもと家族の最善のケアとは ターミナル期にある子どもとのコミュニケーション 事前学修：小児看護学Ⅱで学修した終末期の子どもと家族の看護を復習する

	事後学修：「ターミナル期にある子どもと家族のケア」について、自身の考えを整理してレポートを作成する。 備考：大久保 子ども・家族・看護師自身の悲嘆とケア 授業内容 授業形態：講義 学修課題：悲嘆（グリーフ）とケア 子どもの悲しみとケア 子どもを亡くした家族の悲しみとケア 看護師自身の悲しみとケア 事前学修：自身の悲しみの経験とそれをどのように乗り越えてきたかについて振り返る。 事後学修：動画を視聴して、「いのちの尊厳」「自分自身の生き方」「看護師としての関わり」について整理する。 備考：大久保
4	
5	病とともに生きる人のエンドオブライフケア 授業内容 授業形態：講義 学修課題：全人的苦痛を持つ患者家族の看護 終末期における患者家族の特徴と看護援助 事前学修：成人看護学Ⅰ成人期にある人との健康レベルに応じた看護③、成人看護学Ⅲ緩和ケアを必要とする患者と家族の看護の講義資料、テキストについて復習する。 事後学修：「私が大切にしたいと考える、病を抱えながらエンドオブライフを歩む患者と家族への看護」についてレポートを作成する。 備考：石岡
6	病とともに生きる人のエンドオブライフケア 授業内容 授業形態：講義 学修課題：アドバンス・ケア・プランニングにおける看護師の役割と支援方法 事前学修：成人看護学Ⅰ成人期にある人との健康レベルに応じた看護③、成人看護学Ⅲ緩和ケアを必要とする患者と家族の看護の講義資料、テキストについて復習する。 事後学修：「私が大切にしたいと考える、病を抱えながらエンドオブライフを歩む患者と家族への看護」についてレポートを作成する。 備考：石岡
7	地域で暮らす療養者と家族へのエンドオブライフケア 授業内容 授業形態：講義 学修課題：地域・在宅におけるエンドオブライフケアの原則 看取りを実現するための在宅医療体制 事前学修：地域・在宅看護論演習「ターミナルケア」について復習する。 事後学修：地域・在宅におけるエンドオブライフケアを、経験や講義内容から考察しレポートを作成する。 備考：関
8	地域で暮らす療養者と家族へのエンドオブライフケア 授業内容 授業形態：講義 学修課題：自宅で見取るためのケアと家族支援 地域での死亡診断 事前学修：地域・在宅看護論演習「ターミナルケア」について復習する。 事後学修：地域・在宅におけるエンドオブライフケアを、経験や講義内容から考察しレポートを作成する。 備考：関
評価方法、評価基準	課題レポート100%：到達目標1-5について、授業回数8回のうち、1・2回を25%、3・4回を25%、5・6回を25%、7・8回を25%として到達度を各担当教員が実施し、その後、総合評価をおこなう。
必携図書	資料等は、必要時配布する。
参考図書・資料等	谷本真理子, 増島麻里子 (2022) : エンドオブライフケアその人にとっての最善をめざして, 南江堂. 長江弘子編 (2025) : 看護実践に活かすエンド・オブ・ライフケア第3版, 日本看護協会出版会. 浅見洋, 他編 (2024) : エンドオブライフケア学”自分らしく生きる”哲学, 日本看護協会出版会.
受講、課題、資料配布等のルール	欠席の場合は、担当教員へメールで連絡する。
教員からのメッセージ	皆さんと「生きる」を支えるについて考えていきましょう。
オフィスアワー	全教員 在室時対応可能 メール等で対応可能